

議 事 概 要

委員会名称	伊勢市高齢者虐待防止対策委員会
開催日時	令和5年7月11日(火) 14:00～15:40
開催場所	福祉総合支援センターよりそい 会議室1
出席委員	鵜沼委員、橋上委員、溝口委員、中村委員、曾野委員、小林委員、西岡委員、永野委員、嶋垣委員、加藤委員、前島委員 計11名
出席事務局職員	福祉総合支援センター：(センター長) 小林、(センター長補佐) 小川、(総合相談係長) 田代、(総合相談係) 永井、中尾、辻村 伊勢市内地域包括支援センター(東、五十鈴、北、中部、南、西) ※計 17名
議題及び協議概要	<p>1. 開会挨拶</p> <p>2. 令和4年度報告について</p> <p>高齢者虐待防止に係る事業実績「資料1」、高齢者虐待の対応について「資料2」、実績および対応、課題について資料に基づき報告。</p> <p>委員：成年後見制度の市長申し立てで後見人に繋がらなかったケースはあるのか。</p> <p>事務局：65歳以上の高齢者の市長申し立てを行ったケースはすべて後見人が決まった。困難ケースなどは成年後見サポートセンターきぼうの委員会にて、司法専門職を交えて候補者を検討している。</p> <p>委員：養護者による高齢者虐待相談・対応状況の経年推移において、令和4年の件数が減少していることをどのように分析しているか。</p> <p>事務局：今のところ特別な要因は見つけられていない。全国の傾向では相談件数は微増しており、虐待認定件数は落ち着いている。急激に変化しているわけではないので、今後の傾向を見ていきたい。</p> <p>委員：新型コロナウイルスの状況が影響しているということはないのか。</p> <p>事務局：最近2,3年の間、サービス利用の自粛をしていることもあり、その中で虐待案件が起きていることもあるが、減少の要因とは言い切れない。</p> <p>包括：コロナの時期は一般相談は増えているが、虐待相談は減少している。相談の特徴としては、無抵抗の高齢者の相談よりも比較的健康的な高齢者から精神疾患をもつ子どもの相談が多い。障がいの関係機関と連携して対応している。</p> <p>委員：虐待要因では介護疲れ・ストレスが多く、虐待者の続柄は息子・夫・娘が多い。虐待者は仕事と介護を兼ねているのか、介護のみし</p>

ている場合が多いのか。

事務局：虐待要因と虐待者の続柄のクロス集計を実施すると、関連がわかったかもしれない。介護疲れ・ストレスについては認知症との関連がある。また主な要因として世帯の様々な複合した問題で経済的な理由により、介護疲れがあってもサービスに繋がられないことや本人と介護者の人間関係によるものもある。

包括：(掲載省略)

⇒議案については承認

3. 令和5年度 高齢者虐待防止対策の取り組みについて 「資料3」

伊勢市高齢者虐待対応マニュアルについて説明。国のマニュアルをもとに市のマニュアルを作成している。令和5年3月に国のマニュアルが改正されたため、7月に送付されたそれに沿って法改正などを反映して作成した。

⇒議案については承認

4. 高齢者虐待対応事例の実際について 「資料4-1, 2」

事例1・2を資料に基づき報告。

(以下掲載省略)

以上